

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公開番号】特開 2020-11130 (P2020-11130A)

【公開日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-003

【出願番号】特願 2019-195014 (P2019-195014)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予め定められた取得条件が成立したことに基づいて特別情報を取得する情報取得手段と

、

前記特別情報が予め定められた判定用情報に対応しているか否かの対応判定を行う対応判定手段と、

遊技回用動作が開始されてから前記対応判定手段の判定結果に対応した報知結果となることで前記遊技回用動作が終了されることを遊技回の 1 回として、前記遊技回用動作が行われるように所定の報知手段を制御する遊技回制御手段と、

を備えている遊技機において、

所定の条件が成立した場合に連続する複数の遊技回のそれぞれにおいて前記報知手段又はそれとは異なる報知手段に特別報知を行わせる特別報知制御手段と、

前記特別報知を行う前記遊技回の連続する回数が所定の第 1 回数に達することを制限する連続回数制限手段と、

を備え、

前記連続回数制限手段は、

所定の遊技回における前記対応判定手段の判定結果に対応した前記報知手段による報知の内容が遊技者に有利な遊技状態となることに対応する特定の第 1 内容となる場合は、前記所定の遊技回までにおける前記連続する回数が前記所定の第 1 回数に達することを許容し、

前記報知の内容が前記特定の第 1 内容とならない場合は、前記連続する回数が前記所定の第 1 回数に達することを制限するものであり、

当該遊技機は、

前記連続する複数の遊技回におけるそれぞれの遊技回において、前記特別報知を実行するか否かを決定する決定手段と、

前記情報取得手段により取得された所定の特別情報が前記対応判定手段による前記対応判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、当該所定の特別情報が前記対応判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、

を備え、

前記決定手段は、前記先特定手段が特定する情報が特定結果となることを契機とするこ

となく、前記連続する複数の遊技回以外の遊技回についても遊技回ごとに前記特別報知を実行するか否かの実行判定を行い、当該実行判定の結果に基づいて前記特別報知の実行を決定するように構成されており、

前記実行判定に関する状態として、第 1 状態と、前記第 1 状態よりも前記特別報知を実行すると判定しやすい第 2 状態とが設けられており、

前記第 1 状態である状況で前記先特定手段により特定される結果が前記第 1 内容となることに対応した第 1 結果となった場合、前記実行判定に関する状態を前記第 2 状態に移行させ、前記第 1 状態である状況で前記先特定手段により特定される結果が前記第 1 内容とならないことに対応した第 2 結果となった場合、前記実行判定に関する状態を前記第 1 状態に維持する状態制御手段を備え、

前記状態制御手段は、

前記先特定手段により前記第 1 結果が特定された場合、その実行が保留されている遊技回の数である保留数を把握する第 1 手段と、

前記第 2 状態である状況で遊技回の実行回数が前記第 1 手段により把握された保留数に達しているか否かを判定する第 2 手段と、

前記第 2 手段により遊技回の実行回数が前記第 1 手段により把握された保留数に達していると判定された場合、前記実行判定に関する状態を前記第 2 状態から前記第 1 状態に移行させる第 3 手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、

予め定められた取得条件が成立したことに基づいて特別情報を取得する情報取得手段と

、
前記特別情報が予め定められた判定用情報に対応しているか否かの対応判定を行う対応判定手段と、

遊技回用動作が開始されてから前記対応判定手段の判定結果に対応した報知結果となることで前記遊技回用動作が終了されることを遊技回の 1 回として、前記遊技回用動作が行われるように所定の報知手段を制御する遊技回制御手段と、

を備えている遊技機において、

所定の条件が成立した場合に連続する複数の遊技回のそれぞれにおいて前記報知手段又はそれとは異なる報知手段に特別報知を行わせる特別報知制御手段と、

前記特別報知を行う前記遊技回の連続する回数が所定の第 1 回数に達することを制限する連続回数制限手段と、

を備え、

前記連続回数制限手段は、

所定の遊技回における前記対応判定手段の判定結果に対応した前記報知手段による報知の内容が遊技者に有利な遊技状態となることに対応する特定の第 1 内容となる場合は、前記所定の遊技回までにおける前記連続する回数が前記所定の第 1 回数に達することを許容し、

前記報知の内容が前記特定の第 1 内容とならない場合は、前記連続する回数が前記所定の第 1 回数に達することを制限するものであり、

当該遊技機は、

前記連続する複数の遊技回におけるそれぞれの遊技回において、前記特別報知を実行するか否かを決定する決定手段と、

前記情報取得手段により取得された所定の特別情報が前記対応判定手段による前記対応

判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、当該所定の特別情報が前記対応判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、
を備え、

前記決定手段は、前記先特定手段が特定する情報が特定結果となることを契機とすることなく、前記連続する複数の遊技回以外の遊技回についても遊技回ごとに前記特別報知を実行するか否かの実行判定を行い、当該実行判定の結果に基づいて前記特別報知の実行を決定するように構成されており、

前記実行判定に関する状態として、第 1 状態と、前記第 1 状態よりも前記特別報知を実行すると判定しやすい第 2 状態とが設けられており、

前記第 1 状態である状況で前記先特定手段により特定される結果が前記第 1 内容となることに対応した第 1 結果となった場合、前記実行判定に関する状態を前記第 2 状態に移行させ、前記第 1 状態である状況で前記先特定手段により特定される結果が前記第 1 内容とならないことに対応した第 2 結果となった場合、前記実行判定に関する状態を前記第 1 状態に維持する状態制御手段を備え、

前記状態制御手段は、

前記先特定手段により前記第 1 結果が特定された場合、その実行が保留されている遊技回の数である保留数を把握する第 1 手段と、

前記第 2 状態である状況で遊技回の実行回数が前記第 1 手段により把握された保留数に達しているか否かを判定する第 2 手段と、

前記第 2 手段により遊技回の実行回数が前記第 1 手段により把握された保留数に達していると判定された場合、前記実行判定に関する状態を前記第 2 状態から前記第 1 状態に移行させる第 3 手段と、

を備えていることを特徴とする。